

VI 研究科報告

広島文化学園大学大学院看護学研究科

研究科長 岡本陽子

1. 研究科の活動

大学院看護学研究科は博士前期課程及び博士後期課程の2課程を有し、学生の1学年定員はそれぞれ6名、3名である。2021年度の学生数は博士前期課程1年生4名、2年生6名（長期履修者含む）で、博士後期課程は1年生1名、2年生2名、3年生3名、長期履修及び在籍学生5名であり、各学生に対して教育・研究指導を展開した。その結果、2021年度は博士後期課程2名が博士号（看護学）を、前期課程の5名が修士号（看護学）の学位を取得した。

また、今年度 CNS コースのうち、高齢者看護専攻の修了生が広島県内3人目の老人看護専門看護師の資格を取得した。広島県の老人看護専門看護師3人は、いずれも、広島文化学園大学看護学研究科の修了生である。また、クリティカルケア看護専攻の修了生も試験に合格し、急性・重症患者看護専門看護師の資格を取得した。

広島文化学園大学看護学研究科から、すでに、4名の専門看護師が誕生した。

学位の取得以外の2021年度の主な取り組みは以下の通りである。

- ① 博士後期課程学生の成果物（博士論文）のネット公表を2名が行った。
- ② 「職業実践力育成プログラム（BPプログラム）については、コロナ禍における感染拡大の危惧から開講はできなかった。
- ③ 研究科在籍学生含め全学生に対する授業評価に関するアンケートを施行した。
- ④ 中期経営計画Ⅳ、及び長期行動計画を策定した。

2. 学位論文紹介

1) 博士論文

[2021年度；博士学位論文の論文要旨] 2名

2) 修士論文

[2021年度；修士学位論文の論文要旨] 5名